

AT だより 8月号

(アシスティブテクノロジー)

1 こんにちは！AT だよりです

初めまして、「AT だより」と申します。昨年度まで「情報だより」という名前でしたが、より幅広く支援機器の活用を広げていきたいと考え、名前を変更させていただきました。今年度は、学期1回程度 HP 上で発行していく予定ですので、どうぞよろしくお祈いします。

AT って何？

AT はアシスティブテクノロジー (Assistive Technology) の略称。AT とは、障害による物理的な操作上の不利や、障壁 (バリア) を、機器を工夫することによって支援しようという考え方であり、そのための支援技術を指しています。タブレット型端末などの ICT 機器も AT の中に含まれています。

たとえば。。。

- 外付けのスイッチでおもちゃを動かして遊ぶ。
 - 絵カードや写真カードを使って、分かりやすくする。
 - 手の不自由な子が、レーザーポインターで手の届かないところを指し示す。
 - 授業の板書や、バスの時刻表などをタブレットで写真に撮って記録する。
- などなど

ICT って何？

ICT とは、インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー (Information and Communication Technology) の略で、日本語では情報通信技術と訳されます。メールの送受信、チャット、SNS でのやり取り、スマートスピーカーなど、通信による人同士のコミュニケーションの活用を指しています。

2 高等部での機器活用事例

今回は高等部での AT 活用についてご紹介します。高等部では、特にタブレット端末の活用が盛んで、2年生、3年生については個人所有の iPad で、様々な場面で活用できるように取り組んでいます。ここでは、iPad の機能を活用した事例をご紹介します。

大画面電子絵本

好きな絵本をタブレットで電子絵本にしました。そのまま読んでもらうのも楽しいですが、プロジェクターにつないで大画面で見ると、とても迫力があってさらに楽しいです。



ドロップトーク (VOCA アプリ)

ドロップトークというアプリを使って、コミュニケーションをとったり、朝の会の司会を行ったりしています。必要な音声を吹き込んでもらい、アプリのイラストのボタンに配置しました。ボタンを押すことで、会話がしやすくなり、やりとりがスムーズになってきています。



キーノート (プレゼンテーションアプリ)

自分の好きなこと、得意なことなどをキーノートで、スライドにまとめる活動をしました。できたスライドを元に、みんなに自分のことを表現しました。大好きなお相撲の力士の名前をラップの曲にして、盛り上がりました。



ZOOM (オンラインミーティングアプリ)

コロナウイルスの流行で、休校が続いた今年度。学校が始まってなかなかみんなで集まることが難しくなりました。そんな中、ZOOM で訪問学級の生徒さんとリモートで交流授業を行いました。お互いの近況を伝え合っていて、久しぶりのコミュニケーションを楽しむことができました。また、密にならないよう校内でも何カ所かに分かれて ZOOM を使って、活動することもありました。



メタ文字ノート (手書きノートアプリ)

メタ文字ノートを使ってプロフィールの作成や調べ学習に取り組んでいます。コロナウイルスについて、調べ学習を行い、文字やイラストを手描きし、校内掲示用のコロナウイルス対策に関する注意事項のポスターを制作しました。オリジナルのかわいいポスターができました。



3 iPhone、iPad を安全に使うための設定方法(スクリーンタイム)

子どもたちが安心して使用できるよう、iPhone や iPad では、アプリや使用時間を制限できる機能としてスクリーンタイムがあります。スクリーンタイムでは、ほかにも閲覧できる WEB の設定や、購入制限などの設定ができます。また、どのアプリをよく使っているかなど、アプリの使用時間を知ることができます。

〔主な機能〕

- 休止時間
使用できない時間を設定します。
- アプリの使用時間の制限
選んだアプリの1日あたりの使用時間を設定できます。
- 常に使用できるアプリの設定
休止時間中でも利用できるアプリを設定できます。
- コンテンツとプライバシーの制限
不適切な WEB コンテンツを制限したり、購入やダウンロードを制限できます。

↓設定方法はこちら (アップル社の HP より)

